

款10 教育費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
9,001,398,000円	8,657,495,488円	96.2%	91,705,000円	252,197,512円

項1 教育総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
3,031,341,000円	2,985,540,805円	98.5%	0円	45,800,195円

目1 教育委員会費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
6,037,316円	5,836,196円	96.7%	0円	201,120円

(教育総務課)

目的	教育委員会議・教育懇談会の開催と事務局運営			
指標	教育委員会開催回数	目標	14回	実績
	教育懇談会開催回数		9回	
説明	委員会に属する事務を適正に管理、執行し、本市における教育振興を図るため、教育委員会議を12回開催し、重点施策及び条例規則の改正の審議等を行い適正な会議運営に努めました。また、本市教育の重要課題や懸案事項等に対する認識を深めるため、保護者や地域住民等の関係者を交えた教育懇談会を10回開催し、教育現場の実態把握や意思疎通を通じ本市教育施策の充実に努めました。			

〔委員報酬〕 5,329,316円

・教育委員会委員 委員長 1人 委員 3人

その他経費

〔負担金〕 506,880円

・三重県市町教育委員会連絡協議会 386,880円

・三重県都市教育長会 62,000円

・全国都市教育長会等 58,000円

目2 事務局費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,345,867,684円	1,331,334,854円	98.9%	0円	14,532,830円

〔一般職給〕 70人 682,323,890円

〔再任用職給〕 1人 1,654,821円

〔嘱託職給〕 8人 31,057,949円

(教育総務課)

〔退職手当〕 324,963,438円

・定年退職 10人 217,250,246円

・勸奨退職 5人 106,087,511円

・普通退職 2人 1,625,681円

〔退職一時金〕 7人 10,368,177円

〔事務局管理運営費〕 3,187,081円

・職員健康管理費 2,550,331円

・教育問題法律相談事業 600,000円

・職員研修費 36,750円

その他経費

〔事務局管理運営費〕 69,655,236円 (その他特財 1,749,783円)
 ・一般経費(長欠等代替臨時職員賃金等)

(教育施設課)

〔学校施設整備基金積立金〕 201,433,716円 (その他特財 1,433,716円)
 (H21年度末残高 880,464,299円)
 〔緊急雇用創出事業費〕 6,548,715円 (県支出金 6,548,715円)
 ・学校施設等維持管理事業費
 学校労務員(臨時職員)賃金、12人雇用(6~10月)

目3 教育振興費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,212,061,000円	1,190,277,838円	98.2%	0円	21,783,162円

(教育総務課)

〔明許繰越〕
 〔地域活性化・生活対策臨時交付金事業費〕 4,875,585円 (国庫支出金 3,539,000円)
 ・私立幼稚園緊急地震速報導入費補助金 2,656,343円 (国庫支出金 1,928,000円)
 ・私立学校緊急地震速報導入費補助金 2,219,242円 (国庫支出金 1,611,000円)
 〔四日市の教育を考える懇談会経費〕 2,133,149円
 〔教育振興調査研究事業費〕 2,887,500円
 〔学校評価等推進事業費〕 664,460円
 〔開かれた学校づくり推進事業費〕 1,053,832円
 〔学校プール運営委託費〕 3,325,000円
 〔奨学資金〕 2,206,953円
 ・四日市奨学補助金 1,828,953円
 ・システム保守管理業務委託費 378,000円
 〔科学教育奨学資金〕 700,000円 (その他特財 700,000円)
 ・四日市市科学教育奨学資金

目的	私立学校の教育条件の維持向上及び経営の健全化の支援			
指標	対象学校数、対象生徒数	目標	実績	
	1人当たりの補助額	1人当たりの補助額の拡大		
	公私立園保育料保護者負担格差	公私立園保育料保護者負担格差の縮減		
説明	私立学校(市内7校、市外2校、市内15幼稚園)の運営費等を補助し、教育条件の維持向上及び経営の健全化の支援に努めました。また、私立幼稚園に在園する園児の保護者負担の軽減を図るため、保育料の補助単価を見直しましたが、私立幼稚園の保育料の上昇により、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差が広がることとなりました。今後も引き続き、私立学校等への支援に努めます。			

〔私立学校等振興助成費〕 229,879,930円
 ・私立学校等運営費補助金 13,033,800円
 ・私立幼稚園運営費補助金 9,324,130円
 ・私立幼稚園教員研修費補助金 1,970,000円
 ・私立幼稚園保育料補助金 18,724,000円
 ・私立幼稚園就園奨励費補助金 186,828,000円 (国庫支出金 48,112,000円)

【幼稚園就園奨励費補助金の対象になる世帯と補助額】

小学校1～3年生の兄・姉を持たない園児の世帯 補助対象者 1,458人

平成21年度市町村民税	年間補助限度額	補助対象者	合計
非課税世帯 (生活保護世帯を含む)	第1子 153,500円 第2子 224,000円 第3子 294,000円	62人 3人 0人	65人
所得割非課税世帯	第1子 116,300円 第2子 206,000円 第3子 294,000円	26人 5人 0人	31人
所得割課税の額が 34,500円以下の世帯	第1子 88,400円 第2子 192,000円 第3子 294,000円	96人 14人 1人	111人
所得割課税の額が 183,000円以下の世帯	第1子 62,200円 第2子 179,000円 第3子 294,000円	1,103人 145人 3人	1,251人

小学校1～3年生の兄・姉を持つ園児の世帯 補助対象者 651人

平成21年度市町村民税	年間補助限度額	補助対象者	合計
非課税世帯 (生活保護世帯を含む)	第2子 168,000円 第3子 294,000円	28人 6人	34人
所得割非課税世帯	第2子 135,000円 第3子 294,000円	14人 2人	16人
所得割課税の額が 34,500円以下の世帯	第2子 110,000円 第3子 294,000円	52人 8人	60人
所得割課税の額が 183,000円以下の世帯	第2子 87,000円 第3子 294,000円	501人 40人	541人

(指導課)

目的	小中学校教育の充実				
指標	指導要録の各教科の 評定結果	目標	「おおむね満足できる」以上 平均85%	実績	「おおむね満足できる」以上 平均83% (20年度 84%)
説明	<p>「確かな学力」「健やかな成長」を目指し、学力調査や体験学習、授業改善などをおして、各学校(園)づくりビジョンに基づいた教育活動の推進に努めました。学びの一体化推進事業においては、各学校へ授業改善等の指針や新しい方向性を示し、モデル校区での実践に向けた準備に取り組みました。学校図書館の活性化では、司書の専門的な知識を生かした読書センターとしての図書館活用に加え、読書の幅を広げるため、家庭読書や授業での図書活用支援など学習情報センターとしての活用も図りました。また、職場体験学習では幅広い事業所からの参加が得られ、生徒の貴重な体験学習の場として定着してきました。今後も目標の達成に向けて、引き続き授業改善等に取り組んでいきます。</p>				

- 〔児童生徒指導事業費〕 5,562,968円
- ・文化庁活動奨励費補助金 1,413,768円
- 第64回東海吹奏楽コンクール他3件
- ・自分発見中学生・地域ふれあい事業費 2,695,000円 (県支出金 1,347,500円)
- 職場体験活動(21中学校・81学級)
- ・キャリア教育実践研究事業費 190,000円 (県支出金 190,000円)
- 幼小中連携キャリアプログラムポスター印刷製本費等
- ・情報教育推進事業費 1,264,200円
- 学校等HP公開通信費
- 〔学校図書館いきいき推進事業費〕 36,988,386円
- 全市立小中学校62校に司書を派遣 1校当たり週1回程度 1回6時間 年37回
- 〔学校づくりビジョン推進事業費〕 22,178,626円
- 全市立小中学校62校 1校当たり220,000円～495,000円
- 〔学校英語教育充実事業費〕 76,205,012円 (その他特財 6,920,810円)
- 米国ロングビーチ市などからの英語指導員 11人

民間委託による英語指導員 7人			
〔教職員研修費〕	128,085円		
幼稚園新規採用教員研修旅費等			
〔学びの一体化推進事業費〕	1,370,719円		
・学びの一体化推進事業費	1,130,719円	(県支出金 331,000円)	
基礎学力到達度検査診断料等			
・学力アドバンス事業費	240,000円	(県支出金 240,000円)	
教育研究会参加旅費及び研修会講師報償金等			
〔自然教室事業費〕	19,221,800円		
小学校5年生(1泊2日)3,090人 中学校1年生及び中学校2年生(2泊3日)3,133人			
〔大学及び企業との連携による授業力向上事業費〕	1,924,729円		
大学連携による校内研修 幼稚園21回、小学校55回、中学校26回			
企業連携による授業 小学校 8回、中学校 9回			

目的	生徒指導の充実				
指標	問題行動・不登校児童生徒数	目標	200件以下・300人以下	実績	203件・392人 (20年度249件・371人)
説明	<p>スクールカウンセラーやハートサポーター、心の教室相談員を配置し、暴力行為、いじめ及び不登校などの未然防止、また早期発見・早期対応など適切な対応や幼稚園へのスクールカウンセラー派遣も行い、個に応じた課題への対応を図りました。また、教育相談体制の整備やQ-U調査等を活用して、不登校傾向がある子どもに対して迅速な対応を行うとともに、問題行動を繰り返し起こす児童生徒や保護者等の相談などへも適切な対応に努めました。今後も原因を学校内だけでなく、家庭や生活環境などにも視野を広げ、関係機関との連携を密に行うことで目標達成を図っていきます。</p> <p>市内外国人の人数は減少傾向にあるものの、外国人幼児児童生徒の在籍校数は小・中学校の約76%と多く、また、笹川地区においては、幼稚園から中学校まで在籍する子どもの約30%が日本語指導が必要であることから、適応指導員の配置に工夫を行うなど指導の充実を図りました。一方、初期適応指導教室「いずみ」においては、個別指導時間の充実や修了生への補充指導による対応を図りました。今後は、市内各地域への分散化や学力保障、集住化地区への対策など課題克服に向け、指導・運営の工夫に努めていきます。</p>				

〔児童生徒指導事業費〕	68,863,577円		
・いじめ・不登校等教育相談事業費	18,291,000円		
ハートサポーター 24人 要請により幼稚園・小中学校へ派遣 延べ96回			
心の教室相談員 小学校25校に配置 1校当たり 年間217時間			
スクールカウンセラー 小学校11校に配置 1校当たり 年間217時間			
・生徒指導対策事業費	8,714,857円		
児童生徒指導相談員 小学校 4校に配置 1校当たり 年間214時間			
Q-U調査 小学校3年～中学校2年を対象に年2回実施			
・外国人幼児児童生徒教育充実事業費	40,657,720円		
適応指導員派遣経費(9,825時間) 23,870,331円			
初期適応指導教室「いずみ」経費			
指導員5名・事務職員1名の賃金及び消耗品費等	16,787,389円		
・外国人児童生徒教育支援センター事業費	1,200,000円	(県支出金 1,200,000円)	
学校への協力員の派遣 延べ473時間			
〔緊急雇用創出事業費〕	5,060,985円	(県支出金 5,060,985円)	
・外国人児童生徒教育緊急サポート事業費 適応指導員補助員賃金及び共済費			

目的	幼稚園教育の充実				
指標	保護者の保育に対する信頼度	目標	「信頼できる保育」90%	実績	信頼できる保育 95% (20年度 95%)
説明	<p>公立幼稚園の教育活動や子育て支援活動推進のため、園づくり活動指導員の充実等を図りました。今後も、保護者の子育てに対する負担や不安等に対応するため、相談体制を整え、地域の幼児教育支援センターとしての役割を果たせるよう一層の充実に努めていきます。</p>				

〔子育て支援推進事業費〕	5,434,570円		
・園づくり支援事業費	4,074,570円		
園づくり活動指導員の配置 1園当り 1回2～3時間 月2～4回程度			
遊び会参加人数 14,496組 相談件数 763件			
・子育て支援運営費補助金	1,360,000円		
子育て支援活動を行う市民活動団体への補助 2ヶ所			

その他経費

〔負担金〕

- ・三泗教育発表振興会 2,649,000円
- ・教科書採択協議会負担金 82,000円

〔一般経費〕

- ・教育振興一般経費 4,094,939円

(学校教育課)

目的	基礎学力の充実(市単独事業による講師採用の充実)				
指標	少人数授業の充実度の評価(3以上の学校)	目標	90%以上	実績	95% (20年度 94%)
説明	小学校では国語・算数、中学校では数学・英語を中心にすべての学校において30人以下で授業が行われるように講師を配置し、基礎学力の向上ときめ細やかな学習指導を図りました。その結果、個々に目が行き届くなど、学習環境の改善が図られ、学習成果の向上が見られました。また、経験の浅い講師等をはじめとした教職員に対しても、教育アドバイザー制度によって、指導力向上に着実な成果が表れています。				

〔基礎学力・教育力ジャンプアップ事業費〕175,710,246円

目的	特別支援教育のための介助員・支援員の充実				
指標	介助員・支援員の人数	目標	107人	実績	124人 (20年度 112人)
説明	知的障害児、情緒障害児、肢体不自由児に対して、移動・身辺処理・安全配慮などの対応・支援等が要求される特別支援学級に介助員を配し、特別支援教育の充実を図りました。また、通常の学級に在籍する軽度発達障害の児童に対する特別支援教育支援員の配置にも努めました。今後対応が必要になる児童が増加している中、介助員等の適切な配置に努めていきます。				

〔特別支援学級介助員費〕111,609,309円

〔特別支援教育支援員費〕8,895,139円

その他経費

〔学校教育IT推進事業費〕64,031,814円

〔学校図書館システム事業費〕125,580円

〔保健給食費〕17,273,609円

- ・保健給食研修費 134,562円

- ・保健給食一般経費 1,092,440円

- ・環境衛生検査室管理費 200,990円

- ・四日市学校保健会補助金 438,000円

- ・四日市学校保健大会開催費 119,460円

- ・楠学校給食共同調理場管理運営費 12,165,851円

- ・学校給食管理運営費 3,122,306円

〔負担金〕746,500円

- ・三重県特別支援教育研究会等

(人権・同和教育課)

目的	学校人権教育の推進・充実				
指標	学校人権教育リーダーの登録者人員(累積人数)	目標	125人以上	実績	125人 (20年度 94人)
説明	連続講座によるリーダー育成研修を実施し、指導者の育成を図りました。また、人権教育推進校を中心に学習プログラムに関する研究を進め、その成果を公開授業及び研究冊子により市内の全校園に公開できるように努めました。さらに、各中学校ブロック内の幼稚園・小中学校が連携した合同研修会や情報交換会、子ども人権フォーラム、教職員自らの人権感覚を振り返る研修会を各小中学校でも実施し、児童生徒及び教職員の人権感覚や実践力の向上を図りました。				

〔人権教育指導者・リーダー育成充実事業費〕3,253,234円

- ・学校人権教育リーダー育成事業費 411,074円

- 学校人権教育リーダー育成研修会 341,064円

- 31小中学校の人権教育担当教員各1名に4回連続講座を実施

- 学校教職員人権研修会 70,010円

- 人権教育推進委員研修会、小中学校・幼稚園人権教育実践研修会、新採教職員人権教育研修会等を実施

- ・学校人権教育推進事業費 2,780,210円
- 人権教育推進校園指定事業 853,666円
- 2 幼稚園・4 小学校・3 中学校が人権教育カリキュラム・学習プログラムの研究を実施
- 中学校ブロック人権文化創造事業 1,926,544円
- 「人権教育推進校区連絡協議会」を2 2 中学校ブロックそれぞれに組織し、関係校園等による情報交換会や合同研修会、小中学校代表児童生徒による「子ども人権フォーラム」を実施
- ・いじめや差別をなくす人権意識向上事業 61,950円

目的	地域の児童・生徒の自主自立支援				
指標	キッズ・スクール実施回数	目標	150回以上	実績	134回 (20年度 160回)
説明	子ども人権文化創造事業として、5 地域（保々・神前・常磐・日永・笹川）に事業を委託し、地域人権教育推進活動、キッズ・スクール、子ども人権活動地域支援を展開しました。地域人権教育推進活動では、地域の指導者の参加を得ながら、人権学習や進路相談、言語習得活動等を通して、仲間づくりや人権尊重の精神と実践力の育成を図りました。また、キッズ・スクール、子ども人権活動地域支援事業では、地域ボランティアの協力を得て、文化活動・スポーツ・レクリエーション等各種の活動を実施し、地域の子どもとの交流促進や相互理解を図りました。なお、キッズ・スクールについては、その活動時間を子ども人権活動地域支援に一部振り替えたことにより、実施回数の減となりました。				

- 〔子ども人権文化創造事業費〕 5,899,804円
- ・子ども人権文化創造事業委託費 5,200,000円
- 地域人権教育推進 3,521,000円
- 人権学習会・クラブ活動等実施（5地域） 計593回、指導者延べ人数 2,969人
- キッズ・スクール 835,000円
- 文化・スポーツ・レクリエーション活動実施（4地域） 計134回、指導者延べ人数 372人
- 子ども人権活動地域支援 844,000円
- 児童集会所開放実施 259回(4地域平均)、支援者(ボランティア)延べ人数 318人
- ・学習機材・資料充実費 699,804円
- パソコン、インターネット等学習環境整備（各人権プラザ）

【その他経費】

- 〔人権教育学習機会提供・充実事業費〕（研修派遣、ポスター・カレンダー、作文集） 3,370,400円
- 〔人権教育・学習環境整備事業費〕（学校人権教育の手引き・人権学習教材・パソコン使用料他） 686,973円
- 〔自主人権活動支援・充実事業費〕（四日市人権・同和教育研究会事業費補助金） 1,260,000円
- 〔人権教育推進のための調査研究事業委託〕（笹川地区） 1,000,000円（県支出金 1,000,000円）

（政策推進課）

- 〔四日市看護医療大学設立支援事業費〕 200,000,000円

（健康総務課）

- 〔四日市看護医療大学奨学資金〕 92,220,000円

目4 教育・視聴覚センター費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
467,375,000円	458,091,917円	98.0%	0円	9,283,083円

（教育支援課）

目的	学校・園での生活に不応適を起こしている子ども並びに障害のある子どもに対する支援				
指標	教育相談を実施した保護者や適応指導教室入級児童生徒の保護者へのアンケートによる満足度（4段階評価）	目標	3.6以上	実績	3.8 (20年度 3.8)

説明	特別支援教育に関する業務と相談業務を一本化することにより、途切れのない支援を可能にし、子どもや保護者の相談の経過を踏まえた、学校・園への指導・助言に努めました。 プロジェクトU-8事業では、ことば、社会性、学習などに課題のある幼児児童（8歳以下）に対して、課題の改善を目的としたプログラムによる計画的な支援を行いました。 今後も、健康部・福祉部や関係機関との連携を一層深め、相談支援体制の充実に努めます。
----	--

〔就学支援委員報酬〕	275,400円
〔教育支援事業費〕	10,355,031円
・特別支援教育・相談事業費	6,591,352円
・特別支援教育総合推進事業費	100,000円（県支出金 100,000円）
・プロジェクトU-8事業費	3,663,679円

相談件数等 U-8事業参加児童数（H21.9月～H22.3月）

来所相談件数	訪問相談回数
780件	729回

ことば	まなび	ともだちづくり
34人	18人	30人

〔適応指導教室事業費〕	5,965,909円
・適応指導教室事業費	5,965,909円（その他特財 1,296,000円）

適応指導教室通級生の状況

開級日数	通級生 39人				
	復 帰		継 続	復 帰 予 定	そ の 他
194日	進 級	進 学 ・ 就 職	14人	10人	2人
	2人	11人			

〔不登校児童生徒支援ボランティア事業費〕 562,522円

引きこもりがちな不登校児童生徒に対し、「兄・姉」に相当する世代で教育・福祉に熱意と情熱のある学生をボランティアとして家庭や適応指導教室に派遣し、児童生徒とのふれあいを通して、良き相談者としての関係を作るとともに、自立に向けた支援活動を行いました。

家庭派遣状況

派遣件数	派遣回数	学校復帰	進 学
2件	28回	0人	1人

ふれあいフレンド活動支援状況

活動内容	参加人数	活動回数
学習支援	109人	87回
体験活動支援	28人	20回

目的	教職員の多様なニーズと課題解決のための研修の推進				
指標	研修会に参加した教職員へのアンケートによる理解度・活用度（4段階評価）	目標	3.6以上	実績	3.8 （20年度 3.7）
説明	本市の教育課題に即した特色ある研修事業として、基本研修（「職能研修」）、専門研修（「教科等に関する研修」・「領域等に関する研修」・「重点教育課題研修」）、特別研修（「アカデミック研修」・「夏季教育セミナー」）等に分類した計121講座152日の研修（参加者数8,089人）を実施し、教職員の資質向上を図りました。 また、実践的指導力の向上を目指して連続講座、実技・演習型、参加・体験型の研修会を数多く設定するとともに経験年数（ライフステージ）別研修の充実に努めました。今後も引き続き多様なニーズと課題解決に向けた研修事業の推進に努めます。				

〔教育支援事業費〕	3,944,334円
・教職員研修費	3,379,334円（その他特財 370,000円）
・三泗乳幼児教育研修事業費	565,000円（その他特財 131,000円）

目的	情報教育の推進				
指標	情報教育に関する研修会に参加した教職員へのアンケートによる理解度・活用度（４段階評価）	目標	3.6以上	実績	3.7 (20年度 3.8)
説明	各小・中学校に電子黒板3～4台と校内LANの整備を行い、教室でICTを活用した授業を行える条件整備を行いました。また、これらを活用するための研修講座（計18回）や、学校への出前研修会（計108回）などを実施し、教職員のICT活用指導力の向上を図りました。今後は児童生徒の問題解決能力の育成をめざし、授業での活用方法等により実践的な研修会の充実に努めます。				

〔教育情報通信システム運営費〕	210,166,965円	
・教育情報通信システム運営費	136,059,792円	
・教育情報通信システム運営費（債務分）	71,136,093円	
・学校図書館ネットワーク事業費	2,971,080円	
〔地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業費〕	214,378,500円	（国庫支出金 213,689,250円）
・学校ICT環境整備事業費		

目的	学校・園における教育課題解決のための研究の推進				
指標	課題研究に対する教職員へのアンケートによる理解度・活用度（４段階評価）	目標	3.4以上	実績	3.8 (20年度 3.4)
説明	国立教育政策研究所の指導・助言を受け、『教室談話分析からみるコミュニケーション能力の育成に関する研究～グランド・ルール「つながり言葉」を活用して～』、『ICT活用指導力を高めるための効果的な校内研修の在り方に関する研究～ワークショップ型校内研修の実践を通して～』、『対人関係のスキルを身に付けさせるための効果的な支援方法の研究～適応指導教室におけるソーシャルスキルトレーニングの実践を通して～』という教育課題研究に取り組むとともに、研究成果の普及に努めました。今後も引き続き『本市重点教育課題』『ICTの活用』『不登校児童生徒への支援』等に関する研究を行い、今日的な教育課題解決のための研究を推進するとともに、研究と研修の一体化を図ります。				

〔教育支援事業費〕	1,641,852円
・教育課題研究・調査費	441,917円
・重点課題研究推進校事業費	1,199,935円

その他経費

〔視聴覚ライブラリー事業費〕	2,347,000円	（その他特財 440,000円）
・視聴覚ライブラリー等貸出業務委託等		
〔視聴覚センター事業費〕	2,545,286円	（その他特財 1,171,360円）
・四日市市立視聴覚センター貸館業務委託等		
〔負担金〕	1,142,000円	
・三泗教育研修運営委員会	1,100,000円	
・全国教育研究所連盟等	42,000円	
〔管理運営費〕	4,767,118円	
・教育センター費	4,015,150円	
・視聴覚センター費	751,968円	

項2 小学校費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,329,621,000円	2,215,891,066円	95.1%	56,705,000円	57,024,934円

目1 学校管理費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,717,603,000円	1,630,610,596円	94.9%	54,132,000円	32,860,404円

〔一般職給〕	51人	362,207,716円
〔再任用職給〕	6人	21,747,711円
〔嘱託職給〕	38人	113,583,056円

(教育総務課)

〔学校管理運営費〕	134,061,623円
・一般管理運営費(事務補助及び給食調理員賃金等)	

(学校教育課)

目的	健康診断の充実				
指標	受診率	目標	100%	実績	99.9% (20年度100%)
説明	学校保健法に基づき、学校医、歯科医等による心臓や検便、検尿等に関する検診を実施し、児童の健康維持、管理を図りました。今後も100%の受診率を目指して、児童の健康維持、管理に努めます。				

〔非常勤職員報酬〕	47,247,959円
・校医 48人	24,209,919円
・歯科医 48人	18,659,840円
・薬剤師 40人	4,378,200円
〔学校保健衛生管理費〕	34,661,934円
・児童健康診断費	

目的	安全で安価な給食の提供				
指標	一食あたり人件費	目標	185円	実績	197円 (20年度 201円)
説明	調理員への衛生指導や研修会等を定期的実施し、安全で安心できる学校給食の提供に努めました。また、食材の選定や発注を担う給食協会に対しては、サンプル検討会等を実施し、給食の質の確保に努めました。今後も学校給食を安定的に提供するため、なかよし給食の維持とともに、調理業務の民間委託に努めます。				

〔学校給食管理運営費〕	209,101,879円
・学校給食管理運営費	19,121,464円
・学校給食地場農畜産物利用拡大事業	2,586,912円 (その他特財 1,747,000円)
・なかよし給食事業費 (塩浜・三浜、三重北・八郷西、高花平・小山田)	8,412,280円
・給食調理業務委託 (中部西、大谷台、富田、八郷、羽津北、内部、常磐、川島、内部東)	132,003,684円 (その他特財 5,119,762円)
・給食従事者健康診断費	1,014,212円
・一般管理運営費(消耗品、ガス等)	45,963,327円
〔学校管理備品整備費〕	7,615,230円
・一般給食備品(給食室備品)	

その他経費

〔学校管理運営費〕	325,812,595円
・一般管理運営費 光熱水費等経常経費	
〔学校管理備品整備費〕	18,907,372円
・一般備品整備費(印刷機、キャビネット等管理備品費)	17,691,577円
・一般保健室備品	1,215,795円
〔地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業費〕	18,089,662円 (国庫支出金 17,869,000円)
・児童用机椅子更新事業費	
〔学校保健衛生管理費〕	21,813,088円
・教職員健康診断費	4,438,311円

・一般管理運営費（保健用消耗品、災害共済給付金等）	17,374,777円	（その他特財	9,950,544円）
〔負担金〕	21,896,059円		
・学校災害賠償補償保険料等	1,693,607円		
・日本スポーツ振興センター共済掛金	17,238,100円	（その他特財	7,695,800円）
・三重県学校保健会	314,432円		
・全国連合小学校長会等	1,709,420円		
・下水道受益者負担金	940,500円		

（教育施設課）

目的	施設の適正な維持管理整備				
指標	学校施設についての児童アンケートにおける満足度評価	目標	80%	実績	61% (20年度 75%)
説明	施設の機能を維持するため、保守点検、清掃管理等の定期的な実施に努めました。一方、施設の補修については、学校からの要望も踏まえ、防火シャッター改修工事、プール塗装改修工事、防水改修工事等、計画的に補修工事を施工し、適切な維持管理を図りました。				

〔学校管理運営費〕	256,281,163円
・施設維持管理費	80,113,268円
・施設補修費	157,647,679円
補修工事数 計551件	
・PFI学校施設管理費	18,520,216円
富田小学校	
〔通学路交通安全施設整備事業費〕	19,494,899円
・カーブミラー 23本、転落防止柵 10箇所、側溝蓋 15箇所、路面表示 146箇所 等の整備	

その他経費

〔学校管理運営費〕	18,088,650円	（その他特財	1,667,037円）
・一般管理運営費（土地使用料等）			

目2 教育振興費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
170,867,000円	169,359,487円	99.1%	0円	1,507,513円

（学校教育課）

目的	学校図書館の充実				
指標	「学校図書館図書標準」蔵書整備率	目標	100.0%	実績	101.3% (20年度96.5%)
説明	学校図書については、平成16年以降、毎年1万冊以上増加しており、平成21年度は16,753冊増加しました。今後も蔵書の充実に取り組んでいきます。 「学校図書館図書標準」……学級数に応じて整備すべき蔵書の標準として国が定めたもの				

〔学校図書館図書整備事業費〕	30,835,964円	（その他特財	17,500,000円）
----------------	-------------	--------	--------------

その他経費

〔教材・教具整備費〕	13,434,697円	（国庫支出金	6,546,286円）
〔要保護準要保護児童就学援助費〕	117,238,159円	（国庫支出金	702,139円）
〔特別支援教育就学奨励費〕	7,850,667円	（国庫支出金	2,532,556円）

目3 学校建設費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
441,151,000円	415,920,983円	94.3%	2,573,000円	22,657,017円

(教育施設課)

目的	学校施設の充実				
指標	(校舎増築) 教室不足数	目標	教室不足校 0	実績	0校 (20年度 0校)
説明	【校舎増築】児童数の増加に伴い、保々小学校において増築を行い、教室数の確保を図りました。また、児童数の増加があった泊山小学校において、増築工事の実施設計を行いました(平成22年度工事施工)。				

〔保々小学校増築事業費〕	54,677,000円	〔国庫支出金〕	13,893,000円
・保々小学校視聴覚室増築ほか工事	52,311,000円	〔市債〕	34,400,000円
・	〃	に係る設計業務委託	2,289,000円
・	〃	に係る計画通知・完了検査手数料	77,000円
〔泊山小学校増築事業費〕	21,110,675円		
・泊山小学校増築・改修工事設計業務委託	9,817,500円		
・	〃	に係る計画通知手数料	107,000円
・泊山小学校仮設校舎リース	2,490,075円		
・泊山小学校視聴覚室改修工事	8,696,100円		

目的	学校施設環境の向上				
指標	(校舎改築) 整備校数	目標	1校設計着手	実績	1校設計着手 (20年度 0校)
	(大規模改造整備) 整備校数		2校		2校
説明	【校舎改築】河原田小学校において、活断層が存在しない運動場における改築工事のための地質調査を行い、実施設計に着手しました(平成22年度設計終了)。 【大規模改造整備】常磐小学校、高花平小学校において、教室、トイレ等、大規模改修工事を行い、校舎の長寿命化及び学習環境の改善を図りました。				

〔河原田小学校改築事業費〕	8,498,950円		
・河原田小学校改築工事地質調査業務委託(平成21年度分)	1,888,950円		
・	〃	設計業務委託	6,610,000円
〔大規模改造整備事業費〕	160,475,700円	〔国庫支出金〕	45,953,000円
・常磐小学校大規模改造工事	116,424,000円	〔市債〕	93,500,000円
・高花平小学校大規模改造工事	43,143,450円		
・	〃	に係る関連工事	908,250円
〔その他施設整備費〕	7,083,913円		
・四日市市教育施設長期保全計画作成業務委託			
〔PFI学校施設整備費〕	39,178,610円		
・富田小学校			

目的	安全安心の施設整備				
指標	(給食室・バリアフリー化) 整備率	目標	(給食室改修) 79%	実績	79% (20年度 76%)
	(小型焼却炉撤去) 撤去率		(バリアフリー化整備) 90%		90% (20年度 84%)
			100%		100%
説明	【給食室改修】安全安心な学校給食を行うため、日永小学校の給食室改修工事を施工し、衛生管理強化を図りました。 【バリアフリー化整備】出入口段差解消スロープの設置、階段・廊下手摺の設置、身障者用トイレ改修等の工事を施工し、誰もが円滑に活用できる学校となるよう努めました。 【小型焼却炉撤去】環境側面から使用を禁止している小学校の小型焼却炉全基について、撤去を行いました。				

〔給食室改修費〕	39,670,900円	(市債)	27,000,000円
・日永小学校給食室改修工事			

〔バリアフリー化施設整備費〕	33,546,702円	〔 国庫支出金 7,268,000円 市債 19,700,000円 〕
・笹川西小学校バリアフリー化工事	10,899,000円	
・内部小学校バリアフリー化工事	10,135,650円	
・保々小学校バリアフリー化工事	7,029,750円	
・その他バリアフリー化関連工事（5校）	2,459,352円	
・バリアフリー化工事の設計業務委託 （富洲原小学校、下野小学校）	3,022,950円	
〔地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業費〕	9,895,592円	〔 国庫支出金 9,212,000円 〕
・学校施設小型焼却炉撤去事業費 小型焼却炉撤去 小学校35校、55基		

その他経費

〔その他施設整備費〕	18,680,550円
・富田小学校普通教室改修工事	4,355,400円
・日永小学校公共下水接続工事	4,296,600円
・海蔵小学校非常放送設備改修工事	3,295,950円
・その他6業務委託	6,732,600円
〔用地取得事業費〕	14,419,850円
・四郷小学校用地	
〔事業事務費〕	8,682,541円
・一般職給 1人	5,813,651円
・その他事務費	2,868,890円

項3 中学校費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,132,701,000円	1,048,673,993円	92.6%	20,000,000円	64,027,007円

目1 学校管理費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
692,652,000円	646,740,588円	93.4%	20,000,000円	25,911,412円

〔嘱託職給〕 17人 59,424,293円

（教育総務課）

〔学校管理運営費〕 12,456,448円
・一般管理運営費（事務補助及び用務員賃金等）

（学校教育課）

目的	健康診断の実施				
指標	受診率	目標	100%	実績	99.9% (20年度 99.9%)
説明	学校保健法に基づき、学校医、歯科医等による心臓や検便、検尿等に関する検診を実施し、生徒の健康維持、管理を図りました。今後も100%の受診率を目指して、生徒の健康維持、管理に努めます。				

〔非常勤職員報酬〕 23,333,108円
・校医 25人 11,850,668円
・歯科医 25人 9,220,440円
・薬剤師 22人 2,262,000円
〔学校保健衛生管理費〕 15,368,537円
・生徒健康診断費

その他経費

〔学校管理運営費〕 186,668,348円
・一般管理運営費
光熱水費等経常経費

〔学校管理備品整備費〕	16,933,051円		
・一般備品（印刷機、コピー機等管理備品費）			
	16,250,866円		
・一般保健室備品	682,185円		
〔地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業費〕	8,230,950円	（国庫支出金	8,131,000円）
・生徒用机椅子更新事業費			
〔学校保健衛生管理費〕	18,303,071円		
・教職員健康診断費	2,644,051円		
・一般管理運営費（保健用消耗品、災害共済給付金等）			
	15,659,020円	（その他特財	12,003,138円）
〔中学校給食事業費〕	129,904,714円	（県支出金	50,000,000円）
〔負担金〕	9,758,144円		
・学校災害賠償補償保険料等	789,812円		
・日本スポーツ振興センター共済掛金	7,881,335円	（その他特財	3,449,540円）
・三重県学校保健会	144,517円		
・全日本中学校長会等	942,480円		

（教育施設課）

目的	教育施設の適正な維持管理整備				
指標	学校施設についての生徒アンケートにおける満足度評価	目標	60%	実績	57% (20年度 54%)
説明	施設の機能を維持するため、保守点検、清掃管理等の定期的な実施に努めました。一方、施設の補修については、防火シャッター改修工事、防水改修工事等、学校からの要望も踏まえ計画的に補修工事を施工し、適切な維持管理を図りました。				

〔学校管理運営費〕	158,217,009円
・施設維持管理費	37,409,570円
・施設補修費	71,460,858円
補修工事数 計273件	
・PFI学校施設管理費	49,346,581円
南中学校、橋北中学校、港中学校	

その他経費

〔学校管理運営費〕	8,142,915円	（その他特財	275,741円）
・一般管理運営費（土地使用料）			

目2 教育振興費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
127,860,000円	122,072,061円	95.5%	0円	5,787,939円

（学校教育課）

目的	学校図書館の充実				
指標	学校図書館 図書標準蔵書整備率	目標	87.0%	実績	87.9% (20年度 81.7%)
説明	学校図書については、平成16年以降、毎年5千冊以上増加していますが、平成21年度は16,013冊増加しました。今後も「学校図書館図書標準」の達成に向けて蔵書の充実に取り組んでいきます。 「学校図書館図書標準」……学級数に応じて整備すべき蔵書の標準として国が定めたもの				

〔学校図書館図書整備事業費〕	41,759,871円	（その他特財	30,100,000円）
----------------	-------------	--------	--------------

その他経費

〔教材・教具整備費〕	13,234,055円	（国庫支出金	6,953,714円）
〔要保護準要保護生徒就学援助費〕	64,105,818円	（国庫支出金	713,111円）
〔特別支援教育就学奨励費〕	2,972,317円	（国庫支出金	953,444円）

目3 学校建設費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
312,189,000円	279,861,344円	89.6%	0円	32,327,656円

(教育施設課)

目的	学校施設の充実				
指標	(校舎増築) 教室不足数	目標	教室不足校 0	実績	0校 (20年度 0校)
説明	【校舎増築】生徒数の増加に伴い、朝明中学校において増築を行い、教室数の確保を図りました。				

〔朝明中学校増築事業費〕	59,231,100円	〔国庫支出金 21,201,000円〕
・朝明中学校理科室増築ほか工事	56,872,200円	〔市債 31,800,000円〕
・	”	に係る設計業務委託 2,244,900円
・	”	に係る計画通知・完了検査手数料 114,000円

目的	学校施設環境の向上				
指標	整備校数	目標	17校	実績	17校
説明	【中学校給食配膳室整備】平成22年1月から中学校でデリバリー給食を開始するにあたり、配膳室の確保・整備を行いました。間仕切設置・空調設備設置・給排水整備等の改修または増築工事を行い、給食実施の上で必要な衛生管理上の環境水準の確保を図りました。				

〔中学校給食施設整備事業費〕	87,315,890円	(県支出金 48,000,000円)
・配膳室増築・改修工事(17校)		

その他経費

〔PFI学校施設整備費〕	82,484,160円
・南中学校、橋北中学校、港中学校	
〔その他施設整備費〕	2,644,661円
・四日市市教育施設長期保全計画作成業務委託	

目的	安全安心の施設整備				
指標	(バリアフリー化) 整備率	目標	97%	実績	97% (20年度 91%)
	(小型焼却炉撤去) 撤去率		100%		100%
説明	【バリアフリー化整備】出入口段差解消スロープの設置、階段・廊下手摺の設置、身障者用トイレ改修等の工事を施工し、誰もが円滑に活用できる学校となるよう努めました。 【小型焼却炉撤去】環境側面から使用を禁止している中学校の小型焼却炉全基について、撤去を行いました。				

〔バリアフリー化施設整備費〕	22,749,510円	〔国庫支出金 5,300,000円〕
・西笹川中学校バリアフリー化工事	11,025,000円	〔市債 14,000,000円〕
・三重平中学校バリアフリー化工事	7,410,900円	
・その他バリアフリー化関連工事(4校)	3,013,710円	
・バリアフリー化工事の設計業務委託(楠中学校)	1,299,900円	
〔地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業費〕	6,340,822円	(国庫支出金 5,903,000円)
・学校施設小型焼却炉撤去事業費		
小型焼却炉撤去 中学校19校、33基		

その他経費

〔その他施設整備費〕	8,246,175円
・山手中学校自動火災報知設備改修工事ほか11工事等	
〔校舎等譲受費〕	951,740円
西笹川中学校	

〔事業事務費〕	9,897,286円
・一般職給 1人	9,011,290円
・その他事務費	885,996円

項4 幼稚園費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
881,343,000円	844,439,215円	95.8%	15,000,000円	21,903,785円

目1 幼稚園費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
881,343,000円	844,439,215円	95.8%	15,000,000円	21,903,785円

〔一般職給〕	78人	545,628,170円
〔嘱託職給〕	14人	45,644,299円

（教育総務課）

〔園管理運営費〕	156,415,468円	（その他特財 77,907,459円）
・一般管理運営費（事務補助及び用務員賃金等）		

（学校教育課）

目的	健康診断の実施				
指標	受診率	目標	100%	実績	99.5% (20年度 100%)
説明	学校保健法に基づき、園医、歯科医等による心臓や検便、検尿等に関する検診を実施し、園児の健康維持、管理を図りました。今後も100%の受診率を目指して、園児の健康維持、管理に努めます。				

〔非常勤職員報酬〕	13,031,688円
・園医 23人	5,952,128円
・歯科医 23人	5,639,560円
・薬剤師 24人	1,440,000円
〔園保健衛生管理費〕	565,505円
・園児健康診断費	

その他経費

〔園管理運営費〕	36,381,741円	〔その他特財 36,092,741円〕
・一般管理運営費		〔国庫支出金 289,000円〕
光熱水費等経常経費、図書購入費等		
〔園管理備品整備費〕	6,032,063円	
・一般備品整備費		
〔園保健衛生管理費〕	2,508,367円	（その他特財 458,966円）
・一般管理運営費（保健用消耗品費、災害共済給付金等）		
〔負担金〕	826,553円	
・学校災害賠償補償保険料等	141,309円	
・日本スポーツ振興センター共済掛金	410,935円	（その他特財 188,055円）
・全国国公立幼稚園長会等	250,985円	
・三重県学校保健会負担金	23,324円	

（教育施設課）

目的	教育施設の適正な維持管理整備				
指標	要望工事実施率	目標	80%	実績	57% (20年度 52%)
説明	施設の機能を維持するため、保守点検、清掃管理等の定期的な実施に努めました。一方、施設の補修については、園からの要望も踏まえ計画的に補修工事を施工し、適切な維持管理を図りました。				

〔園管理運営費〕	25,748,743円
----------	-------------

- ・施設維持管理費 7,224,220円
 - ・施設補修費 18,524,523円
- 補修工事数 計103件

目的	安全安心の施設整備				
指標	(小型焼却炉撤去)撤去率	目標	100%	実績	100%
説明	【小型焼却炉撤去】環境側面から使用を禁止している幼稚園の小型焼却炉全基について、撤去を行いました。				

〔地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業費〕 3,635,886円 (国庫支出金 3,385,000円)

- ・学校施設小型焼却炉撤去事業費
- 小型焼却炉撤去 幼稚園18園、19基

その他経費

〔小規模施設耐震補強事業費〕 5,229,000円 (県支出金 1,667,000円)

- ・耐震補強工事設計業務委託(三重、高花平、楠南幼稚園)

〔園管理運営費〕 877,906円 (その他特財 153,644円)

- ・一般管理運営費(土地使用料)

〔その他施設整備費〕 1,667,400円

- ・羽津幼稚園公共下水道接続工事ほか2業務委託

〔園舎等整備費〕 246,426円

- ・四日市市教育施設長期保全計画作成業務委託

項5 社会教育費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,069,804,000円	1,029,174,671円	96.2%	0円	40,629,329円

目1 社会教育総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
454,653,000円	450,177,273円	99.0%	0円	4,475,727円

〔一般職給〕 34人 319,303,492円 (その他特財 35,015,177円)

〔嘱託職給〕 12人 40,185,935円 (その他特財 3,758,866円)

(社会教育課)

〔明許繰越〕

〔市単独経済対策事業費〕

- ・旧四郷出張所維持管理事業費
- 外壁・窓枠修理

3,726,450円

目的	市民・有識者の意見反映				
指標	会議の開催回数	目標	3回以上	実績	3回 (20年度 3回)
説明	「青少年への放課後の健全育成」について社会教育委員会議を年2回開催し、現状の取り組みに対する助言と指導を受け、青少年育成行政の推進に努めました。また、「四日市市子どもの読書活動推進計画」に基づき、市民を中心とした推進会議を開催し、推進計画の事業等の進捗状況に対する意見や提言を受け、読書活動推進に係る啓発活動に努めました。				

〔委員報酬〕 110,600円

- ・社会教育委員 8人(年2回開催)

〔子どもの読書活動推進事業費〕 42,780円

- ・子どもの読書活動推進計画推進会議委員 8人(年1回開催)

〔社会教育指導者研修費〕 281,800円

- 社会教育委員等の研修

その他経費

〔各種団体活動費〕	200,000円
・四日市市PTA連絡協議会運営費補助金	
〔負担金〕	60,000円
・三重県社会教育委員連絡協議会	
〔一般経費〕	188,452円

目的	文化財の保存と活用				
指標	新規指定件数 文化財説明板の新設・ 更新件数	目標	指定 1件以上 新設・更新 2件以上	実績	指定 1件(20年度 1件) 新設 1件(20年度 0件) 更新 5件(20年度 6件)
説明	「富士の巻狩り」を市の無形民俗文化財に指定し、文化遺産の保存を図るとともに、市内各所の文化財説明板の更新を行い、文化財のPRに努めました。				

〔委員報酬〕	173,800円		
・文化財保護審議会委員 14人(年2回開催)			
〔文化財維持管理事業費〕	6,094,179円		
・文化財維持管理事業費	2,730,077円		
指定文化財の管理			
・旧四郷出張所維持管理事業費	1,139,216円		
管理運営、草刈			
・天然記念物維持管理事業費	1,726,666円		
御池沼沢、アイナシ・イヌナシ自生地の草刈、木の伐採			
・文化財調査事業費	498,220円		
専門委員による調査			
〔緊急雇用創出事業費〕	7,627,924円	(県支出金7,627,924円)	
・史跡・天然記念物維持管理事業費	7,140,000円	(県支出金7,140,000円)	
天然記念物環境整備			
・埋蔵文化財調査事業費	487,924円	(県支出金 487,924円)	
発掘調査補助			
〔文化財保存対策事業費〕	1,642,409円		
・指定文化財保存事業費補助金	513,000円	(その他特財 513,000円)	
上品寺「釈迦如来坐像」収蔵庫の修理、「椿岸神社獅子舞」太鼓等修理			
・ふるさとの道維持管理事業	1,129,409円		
「四郷ふるさとの道」トイレ等の管理			
〔負担金〕	60,000円		
・全国近代化遺産活用連絡協議会負担金	20,000円		
・全国史跡整備市町村協議会負担金	40,000円		

目的	埋蔵文化財の保存と活用				
指標	発掘展来場者数	目標	900人以上	実績	830人 (20年度 800人)
説明	博物館1階エントランスホールにおいて前年度発掘した市内の出土品を展示する発掘展の開催及び市役所1階ロビーで発掘出土品や天然記念物の写真パネル等を展示し、発掘調査の成果を公開することにより、埋蔵文化財に対する市民の関心と理解の浸透に努めました。また、今後も引き続き普及公開の場を積極的に設け、市民への周知と理解を図ります。				

〔埋蔵文化財保護事業費〕	4,394,416円	(その他特財 74,200円)
出土遺物の復元・整理等、文化財整理事業所管理等		
〔埋蔵文化財発掘調査受託事業〕	41,143,095円	(その他特財 41,143,095円)
北勢パイパス発掘調査費		
〔久留倍遺跡保存活用事業〕	24,852,876円	
・埋蔵文化財緊急調査事業費(学術発掘調査)	3,600,000円	(県支出金 2,196,000円)
・史跡整備事業費	21,252,876円	
発掘調査、排水・草刈等の史跡維持管理		

目2 青少年教育費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
177,035,000円	159,362,476円	90.0%	0円	17,672,524円

(社会教育課)

〔明許繰越〕

〔市単独経済対策事業費〕

・旧桜地区市民センター解体事業費

6,541,500円

目的	親と子どもの豊かな育ちの支援				
指標	家族のコミュニケーションについての満足度	目標	83%以上	実績	84% (20年度 83.5%)
説明	「親と子どもの豊かな育ち」をスローガンとし、「生活リズムの向上」、「規範意識の向上」、「安全・安心」の3本柱を重点においた取り組み事業を推進し、家庭教育及び学校教育への支援を行い、地域や家庭の教育力の向上を図りました。				

〔家庭教育振興事業費〕

8,303,415円

・親と子どもの豊かな育ち事業費

6,890,160円

生活リズム・非行防止教室等の実施 (43校園)

有害情報対策研修会の実施 (年1回 開催:参加者数 188人)

四日市市PTA連絡協議会(86単位PTA)及び14の私立幼稚園・小中学校へ委託事業として家庭教育講座を実施 (125回開催:参加者数 延べ11,702人)

・「家庭の日」啓発事業費

1,413,255円

「家庭の日」の定着を図るため、家庭の日啓発講演会を2回開催するとともに、CTYのCM・市広報を活用した啓発活動を実施

目的	地域の青少年育成活動の促進				
指標	子ども会児童加入率	目標	75%以上	実績	70.6% (20年度 72.0%)
説明	遊びや体験活動を通じて社会性、協調性が養われるよう子ども会育成者連絡協議会に対し、子ども会の意義の再認識、魅力ある活動づくりなどの支援に努めました。 また、市民団体等が企画・運営する体験活動に対してその経費の一部を助成し、青少年の集団活動や体験活動の支援、啓発に努めました。				

〔青少年健全育成事業費〕

7,415,340円 (その他特財 115,350円)

・青少年体験活動促進事業

546,579円 (その他特財 11,350円)

青少年を対象として市民団体等が企画・実施する青少年体験活動を募集し、その経費の一部を助成するとともに、青少年体験活動フェスティバルを開催 (助成団体 3団体:参加者数 延べ 362人)

・青年リーダー研修費

447,996円 (その他特財 104,000円)

子ども会や地域の活動における、年少者リーダーとなる青少年(小学5年生から高校生)を募集し、ジュニアリーダー等養成講習会を開催しました。(開催日数 7日:参加者数 41人)

・子ども広場整備事業費補助金

6,185,460円

民間の団体または有志者が設置する子ども広場の整備事業に対してその経費の一部を補助しました。(新設2ヶ所 増設 2カ所、補修 26カ所) (21年度末設置箇所 198カ所)

・子ども緊急避難所設置推進事業費

235,305円

「こどもをまもるいえ」の設置を推進 (市内35団体:9,778カ所)

「子ども110番みまもりたい」活動の推進 (協力車両数586台)

〔補助金〕

2,600,000円

・四日市市青少年健全育成団体事業費補助金

四日市市子ども会育成者連絡協議会 1,500,000円

四日市市青少年育成市民会議 1,000,000円

ボーイスカウト・ガールスカウト四日市地区協議会 50,000円

四日市海洋少年団 50,000円

目的	青少年の非行防止の強化				
指標	補導員による街頭補導実施回数	目標	年間延べ 450回以上	実績	年間延べ 439回 (20年度 年間延べ464回)
説明	中央補導員、三四地区広域補導員を中心に、警察等と協働して、青少年が多く集まる場所において、街頭補導活動を行うとともに、地域において非行の現状、補導活動等の出前講座(延べ6回)を開催し、青少年の非行防止を図りました。 今後も、非行の低年齢化が懸念されることから、青少年の非行防止活動および啓発活動に努めます。				

〔委員報酬〕

134,300円

・青少年問題協議会委員 9人(年2回開催)

〔青少年相談事業費〕	299,560円
・青少年相談員研修費	
〔青少年健全育成事業費〕	3,780,675円（その他特財 450,729円）
・子どもと若者の居場所づくり事業費	
勤労者・市民交流センター北館において毎週土・日曜日に、総合会館において第1～3日曜日に開所	
（利用者数 延べ3,878人）	
〔補導員報償費〕	638,000円
〔補助金〕	160,000円
・四日市市補導団体事業費補助金	
四日市市中央補導員協議会	100,000円
四日市市地区補導代表者会	60,000円

青少年の補導状況

区分	補導少年延人数					相談回数		
	小学生	中学生	高校生	その他	計	面接	電話	計
H20	20人 (10.4%)	43人 (22.4%)	89人 (46.4%)	40人 (20.8%)	192人 (100%)	8回	28回	36回
H21	36人 (14.4%)	42人 (16.8%)	85人 (34%)	87人 (34.8%)	250人 (100%)	10回	56回	66回

目的	留守家庭児童の保育活動の支援				
指標	学童保育所の利用児童数	目標	33箇所 1,100人/月 以上	実績	33箇所 1,061人/月 (20年度 31箇所1,007人/月)
説明	保護者の就労等により、放課後及び学校休業日の昼間に留守家庭となる児童の保育、健全育成を目的に運営委員会が設置・運営する学童保育所に対して、その経費の一部補助等の支援を行い、留守家庭児童の保育、健全育成に努めました。 なお、平成21年度は、大規模化していた常磐、海蔵が分割し、それぞれ第2学童保育所が開所しました。				

〔青少年健全育成事業費〕	122,362,010円	（県支出金 74,842,000円）
・学童保育事業費補助金	120,702,010円	（県支出金 73,736,000円）
海蔵・笹川・日永・桜・常磐・常磐西・内部・高花平・内部東・四郷・川島・下野・県・富洲原 浜田・大矢知・泊山・富田・三重・河原田・三重西・楠・中部西・塩浜・八郷西・八郷・羽津 保々・水沢・大谷谷・神前、常磐第2・海蔵第2（21年度末現在開設箇所 33カ所）		
・放課後子ども教室推進事業費	1,660,000円	（県支出金 1,106,000円）

その他経費

〔成人の日行事開催費〕	2,948,708円
参加者数 約2,300人	
〔青少年一般経費〕	4,008,968円
〔負担金〕	170,000円
・三泗地区広域補導協議会	160,000円
・三重県青少年補導センター連絡協議会	10,000円

目3 公民館費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
25,698,000円	24,525,147円	95.4%	0円	1,172,853円

（市民生活課）

その他経費

〔公民館一般経費〕	1,687,397円
〔負担金〕	313,900円
・三重県公民館連絡協議会	

(社会教育課)

目的	地域の社会教育活動への支援				
指標	学校開放(教室)の年間利用回数	目標	4,868回以上	実績	4,925回 (20年度 4,777回)
説明	学校施設における教室開放を行い、住民の学習活動や地域活動の支援を図りました。				
	〔学校開放事業費〕		1,290,000円	(その他特財)	410,400円)

(楠総合支所〔旧楠プラザ〕)

目的	市民が主体となる生涯学習活動を支援する				
指標	楠プラザに関する事業の総参加者数	目標	37,900人 (内訳) 運動会 3,000人 文化祭 3,500人 図書貸出利用者 25,000人 資料館来館者 6,400人	実績	39,975人 (20年度 37,345人) (内訳) 運動会 3,000人 (20年度 3,000人) 文化祭 3,300人 (20年度 3,300人) 図書貸出利用者 26,213人 (20年度 24,648人) 資料館来館者 7,462人 (20年度 6,397人)
説明	<p>生涯学習の拠点として、特に団塊世代を中心に、趣味や生活・環境講座などを提供し、講座を通じた出会いや仲間づくりを図るとともに、楠歴史文化のまちづくりをすすめるため、地域の魅力や歴史を再認識するための講座も含め、多様な学習機会を提供しました。</p> <p>公民館図書室については、利用者のニーズを勘案して図書を購入するとともに、毎週木曜日に絵本のよみきかせ教室を開催するほか、夏休みの「としょっ子まつり」など季節ごとに多彩な事業を開催しました。</p> <p>これらの取組の結果、総参加者数は前年を上回り、当初の目標を達成しました。</p>				

〔楠公民館事業費〕 511,121円 (その他特財 421,450円)

市民の年齢層に応じた多様な講座の開催・まちづくり構想検討会との事業連携

〔楠公民館図書室事業費〕 3,826,951円

〔楠公民館管理運営費〕 7,696,764円

〔楠公民館一般経費〕 9,199,014円

図書室利用状況

	貸出利用者数	貸出冊数	読み聞かせ等の開催回数	参加者数
平成20年度	24,648人	115,621冊	66回	876人
平成21年度	26,213人	124,163冊	64回	1,101人

目4 図書館費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
142,632,000円	129,071,866円	90.5%	0円	13,560,134円

(図書館)

〔明許繰越〕

〔市単独経済対策事業費〕

4,522,980円

・図書館維持管理費

維持管理のための修繕工事等

目的	市民の多様な学習要望に応じ、使い易く居心地の良い図書館を目指す				
指標	図書館利用者数 (本館入館者数)	目標	280,000人以上	実績	290,579人 (20年度281,299人)
	貸出冊数		890,000冊以上		905,567冊 (20年度890,354冊)
説明	<p>平成21年度は、利用者数、貸出冊数とも目標値を上回りました。読みたい本をインターネットで検索して予約し、市立図書館・あさけプラザ図書館・楠公民館図書室のいずれでも本の受け取りや返却ができるように整備した物流システムも、利用が増加しています。さらに、近鉄四日市駅物産観光ホール内に「駅前返却ポスト」を設置し、利用者の利便性の向上に努めました。</p> <p>図書館の調査相談(レファレンスサービス)については、件数は減少しましたが、相談内容が専門化してきていることから、今後も、レファレンスサービスの充実と利用のPR、メールによるレファレンスを行うなど、時代に沿ったサービスの展開を図っていきます。また、多様化する市民ニーズに対応した蔵書構成に努めるとともに、今後も子どもの読書活動推進等のため、職員やボランティアによるお話会や読み聞かせの充実に努めていきます。</p> <p>「図書館のあり方調査研究事業」として、庁内組織である「図書館のあり方調査研究会」に加え、市民・有識者からなる「新しい図書館のあり方検討会」を立ち上げ、本市の図書館のありべき方向性についての検討に努めました。</p>				

〔図書館維持管理費〕	37,203,636円	(その他特財	470,881円)
図書館施設管理委託等			
〔図書資料整備費〕	27,969,666円		
図書館資料の購入費			
〔人権啓発拠点事業推進事業費〕	852,976円		
人権関係資料の購入費			
〔図書館運営費〕	9,803,681円		
点字録音資料作成委託、各種講座の実施等			
〔図書管理システム運営費〕	30,397,194円		
図書館情報システム構成機器等借上げ及び保守委託			
〔移動図書館運転業務委託事業費〕	7,010,146円		
移動図書館車運転業務の委託等			
〔図書館運営業務整備事業費〕	9,356,702円		
図書貸出等業務委託、自動貸出機借上げ・移動式書架借上げ			
〔緊急雇用創出事業費〕	964,254円	(県支出金	652,449円)
・図書館駅前返却ポスト運営事業費			
図書回収業務の委託等			
〔新しい図書館のあり方検討会経費〕	761,431円		
検討会の開催経費			

その他経費

負担金・委員報酬	229,200円
----------	----------

図書資料状況

図書区分	受入冊数	払出冊数	増減冊数	21年度末蔵書冊数
本館成人図書	10,254	4,960	5,294	271,584
本館児童図書	2,497	374	2,123	77,975
外国語図書(成人・児童)	43	8	35	3,664
本館雑誌(成人・児童)	2,665	2,233	432	20,042
計	15,459	7,575	7,884	373,265
自動車文庫図書	2,597	2,126	471	51,364
自動車文庫雑誌	79	84	-5	377
計	2,676	2,210	466	51,741
点字資料(タイトル数)	10	0	10	1,467
録音資料(タイトル数)	76	7	69	2,244
計	86	7	79	3,711
21年度末蔵書冊数総合計				428,717

点字・録音資料については、タイトル数で表示。

利用状況

区分	開館日数	利用者数	登録者数	貸出者数	貸出冊数	相談件数
平成21年度	275	290,579	62,602	178,348	905,567	1,733
平成20年度	275	281,299	62,798	173,090	890,354	3,248

5年間利用実績のない登録者を統計上除いている。

目5 少年自然の家費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
73,161,000円	71,632,638円	97.9%	0円	1,528,362円

(少年自然の家)

目的	青少年に野外活動を中心とした活動プログラムの提供や指導及び活動の場の提供				
指標	利用者満足度 (アンケート結果)	目標	88.0%以上	実績	97.4% (H20年度84.3%)
説明	平成21年度より指定管理者株式会社小学館集英社プロダクションに少年自然の家及び水沢市民広場の管理運営を委託し、市民サービスの向上と管理コストの縮減を図りました。また、利用者の意見を反映させるため利用者や主催事業参加者にアンケートの協力を求め、利用者の視点に立った施設の維持管理運営に努め、夏休みの繁忙期には、休館日も開館するなど市民のニーズに対応した結果、利用者のアンケート結果では、大変満足及び満足の合計で目標を上回りました。市内小中学校の実施する自然教室をはじめ、受け入れ事業では、「ふれあいの森」など施設周辺の自然を活用した体験活動をより多く取り入れることにより、感動する心、自然と共生する心、自主性や協調性などの育成を図りました。また、主催事業では、民間のノウハウを活用し、これまでの事業をさらに充実させるとともに、大門池を活用したカヤック体験活動や化学実験など新しいプログラムを取り入れ、民間の団体、地域、周辺施設との連携を図りながら事業を展開し、それぞれの持ち味を活かしたプログラムの充実、提供に努めました。				

〔施設管理運営費〕	71,632,638円	
・施設管理運営費(指定管理料)	71,471,001円	(その他特財 355,482円)
・施設整備事業費	98,437円	
・委員報酬	63,200円	
運営協議会委員 4名(年2回開催)		

少年自然の家及び水沢市民広場利用状況

事業開催日数 (A)	開館日数 (B)	施設稼働率 (A/B×100)	少年自然の家利用団体数 及び総利用者数	施設使用料及び主催事業 等収入
246日	310日	79.35%	228団体 31,632人 (H20 225団体 22,406人)	18,746,431円 (H20 16,369,410円)
主催事業実施回数及び参加者数			水沢市民広場利用状況	
小中学生対象	ファミリー対象	教職員・一般	占用使用回数	占用使用利用者数
11回 546人 (H20 10回 552人)	5回 207人 (H20 4回 240人)	8回 103人 (2回 63人)	90回 (H20 85回)	6,191人 (H20 4,896人)

目6 博物館費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
196,625,000円	194,405,271円	98.9%	0円	2,219,729円

(博物館)

目的	市民の創造性を高め、郷土を大切に作る心や科学する心を育み、よりよいまちづくりや未来を考える場を提供する				
指標	利用者数 観覧者満足度 (アンケート)	目標	127,200人以上 76%以上	実績	108,490人 (20年度 128,397人) 74% (20年度 73%)

説明

平成21年度においては、展示部門では5つの特別展・企画展と学習支援展示、プラネタリウム部門では9つの一般向け番組・家族向け番組・星座神話番組とCDコンサートなどの特別番組を行いました。その他に教育普及活動として、各種講座・セミナー・星空観望会・移動天文車の派遣事業などを行いました。

展覧会については、「木とあそぼ」展や「ふるしき」展など一定の年齢層を対象にしたものに加え、「ファール昆虫記」展や「内藤ルネ」展など、幅広い年代を対象としたものまで、多岐にわたって開催しました。また、四日市をより深く知ってもらうために、「久留倍遺跡」展を開催し、郷土を愛する心を育み郷土の歴史を次の世代へつなぐための事業にも取り組みました。

プラネタリウムについては、世界天文年にちなんだ春番組「ガリレオ」や、夏の皆既日食を紹介する「なるほどザ・太陽」などに加えて、日本のロケット開発に焦点をあてた「宇宙への挑戦」などを放映し、タイムリーな話題を通して多くの市民に天文の楽しさを知ってもらうことに努めました。特に、7月の皆既日食（四日市では部分日食）については、こにゅうどうくんをモチーフにした日食グラスを夏番組の観覧者に配布するなどして、事前の周知活動に工夫を凝らしたことにより、当日は約2,000人の参加者を得ることができました。

また当館では、学校教育への支援にも注力し、移動式プラネタリウムによる中学校への連携授業や立体映像システムによる小学校への連携授業を行い、学校での授業をより豊かなものとするとともに、近年の理科離れの対策となるよう努めました。

今後も、社会教育施設として生涯学習の振興に寄与するとともに、学校との連携を強化することなどを通して、市民文化の向上に努めていきます。

〔自主事業費〕 62,176,962円
 ・調査研究事業費 553,257円
 ・特別展等開催費 41,670,258円 （その他特財 11,618,140円）

展覧会
特別展

展覧会名	実績額	期間	観覧者数
木とあそぼ！展	6,220,785	4/25～6/14	5,526
ファール昆虫記の世界展	8,384,368	6/27～8/30	9,733
包むこころふるしき展	6,285,510	9/19～11/8	2,794
古代朝明の風景展	7,070,489	12/5～1/24	2,098
内藤ルネ展	12,106,041	2/13～3/22	4,805
合計	40,067,193円	217日	24,956人

その他事業 1,603,065円
 常設展 開館日数 300日 観覧者数 22,399人

・資料収集保存事業費 6,480,192円
 購入資料 1,040,680円
 歴史資料 35件 883,080円
 文学資料 5件 157,600円
 <主な購入資料>
 天春家文書 1件（708点） 450,000円
 くん蒸作業 2,163,000円
 （収蔵庫及び展示室のくん蒸）
 ・教育普及活動事業費 1,063,720円 （その他特財 75,500円）
 講座等実施状況

講座名等	回数	参加者数
ミュージアムセミナー	3	141
子ども博物館教室	19	469
その他	16	758
合計	38回	1368人

博物館ボランティア 登録者数 84人
 学習支援ボランティア 登録者数 15人
 古文書ボランティア 登録者数 33人

・プラネタリウム投映事業費

11,267,689円

その他特財 7,414,770円

〔内訳 観覧料収入 7,174,770円
 広告料収入 240,000円〕

プラネタリウム
 季節番組

番組名	実績額	期間	観覧者数
<一般向け> ガリレオ - その時地球が動いた -	22,000 (721,232)	4/1~5/31 (1/31~)	736 (1,428)
<家族向け> はだかのおうさま 月へいく	12,000 (1,619,689)		1,335 (2,929)
<一般向け> なるほど!ザ・太陽	424,013	6/6~9/27	7,140
<家族向け> 忍たま乱太郎 ~天狗の秘密と消えた太陽の段~	2,126,455		7,595
<一般向け> 葉っぱのフレディ 生命の星のものがたり	1,440,350	10/3~1/31	1,421
<家族向け> 銀河鉄道999 星空はタイムマシン 太陽系・恐竜絶滅篇	2,136,477		2,666
<一般向け> 宇宙への挑戦 - 日本のロケット開発 -	334,382 (347,022)	2/6~3/31 (~5/30)	442 (773)
<家族向け> かいけつゾロリ 宇宙たんけん大さく せん おうごんの星をさがせ! 編	2,058,008 (2,070,008)		1,963 (3,764)
<星座神話>	264,939	4/1~3/31	2,008
合計	8,818,624円	277日	25,306人

()内は前年度分又は後年度分を含む。

特別番組

番組名	実績額	回数	観覧者数
宇宙塾	163,968	4	369
生演奏コンサート	409,679	3	431
CDコンサート	27,205	5	516
ゴールデンウィーク「銀河鉄道の夜」	0	5	320
皆既日食解説特別番組	0	2	296
アロマ付クリスマス特別投映	4,725	3	143
合計	605,577円	22回	2,075人

学習投映番組

投映回数 135回

観覧者数 10,868人(210校園)

その他投映(試写会等)

観覧者数 289人

その他経費

1,843,488円

・天文教育普及活動事業費

1,141,846円

(その他特財 101,800円)

天文教育普及活動事業実施状況

事業名	回数	参加者数
子ども科学教室(工作教室)	2	605
小・中学校連携授業	45	4,641
その他	15	1,092
合計	62回	6,338人

移動天文車「きらら号」の出動回数 24回 参加者 4,434人

きらら号の出動しなかった観望会 29回 参加者 2,555人

(天候不順による天文教室など) 6回 参加者 488人

天文ボランティア 登録者数 39人

〔施設管理運営費〕

132,007,409円

・施設設備維持管理費

71,381,484円

(その他特財 2,120,568円)

主な経費			
清掃警備業務委託	25,987,000円		
設備管理業務委託	22,323,000円		
・運営事業費	32,817,857円	(その他特財	3,728,763円)
主な経費			
案内等業務委託	8,807,400円		
・展示設備維持管理費	2,833,950円		
・プラネタリウム維持管理費	9,677,325円		
主な経費			
プラネタリウム機器保守点検委託	7,770,000円		
・移動天文車維持管理費	15,296,793円		

その他経費

〔委員報酬〕

・博物館協議会 15人	165,900円
-------------	----------

〔負担金〕

・日本博物館協会等	55,000円
-----------	---------

項6 保健体育費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
556,588,000円	533,775,738円	95.9%	0円	22,812,262円

目1 保健体育総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
68,785,000円	68,618,972円	99.8%	0円	166,028円
〔一般職給〕 8人		68,437,032円		

(スポーツ課)

その他経費

〔一般経費〕

181,940円

目2 体育振興費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
61,335,000円	58,011,631円	94.6%	0円	3,323,369円

(スポーツ課)

目的	生涯スポーツの普及・振興				
指標	教室・大会等への参加者数	目標	18,000人/年以上	実績	20,292人/年 (20年度 17,886人) 1人当たりコスト 2,858円 (20年度 3,200円)
説明	各種スポーツ大会や講習会の開催、地域スポーツ活動の場としての学校体育施設の開放、スポーツ団体等の活動を支援するための事業費補助等を行い、生涯スポーツの普及・振興に努めました。また、保々・三重・橋北地区の総合型地域スポーツクラブ運営費補助を行い、活動を支援しました。今後は、平成22年度設立の内部地区の活動も支援するとともに、引き続き浜田、四郷地区での取り組みを推進していきます。また、各種大会の参加者を増やすための創意工夫や、総合型地域スポーツクラブを中心とした地域スポーツの活性化を図る中でスポーツ人口の拡大に努めます。				

〔スポーツ活動振興事業費〕

11,978,466円

・総合型地域スポーツクラブ育成事業費	2,692,150円	
・地域スポーツ活動振興事業費	3,806,803円	(その他特財 296,500円)
・市民スポーツフェスタ開催事業費	1,670,328円	
・少年スポーツ活動振興事業費	3,168,000円	
・スポーツ功労者表彰経費	641,185円	
〔学校開放事業費〕	11,787,716円	(その他特財 5,967,130円)
〔補助金〕	22,887,200円	
・四日市市体育協会	4,670,000円	
・三重県中学校体育連盟三泗支部	3,440,000円	
・四日市市レクリエーション協会	475,000円	
・四日市市スポーツ少年団	630,000円	
・四日市市体育指導委員連絡協議会	270,000円	
・シティロードレース大会	300,000円	
・ウォーキング大会	2,000,000円	
・全国大会等開催費	75,000円	
・全国大会等出場選手激励金等(1,781人)	11,027,200円	
その他経費		
〔体育指導委員経費〕	6,028,231円	
〔負担金〕	3,369,184円	
・三重県体育協会等		
〔体育振興一般経費〕	1,960,834円	

目3 体育施設費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
367,795,000円	348,530,270円	94.8%	0円	19,264,730円

(スポーツ課)

〔明許繰越〕

〔市単独経済対策事業費〕	16,210,950円
・中央緑地運動施設整備事業費	
中央緑地トリムコース改良工事	

目的	スポーツ施設及びスポーツ環境の整備				
指標	スポーツ施設稼働率	目標	60%以上	実績	66.1% (20年度 58.8%) 1人当たりコスト 495円 (20年度827円)
説明	新たに楠緑地運動施設と温水プールを加えた31の運動施設の運営管理を、指定管理者四日市市体育協会・四日市市シルバー人材センターグループに委託し、市民サービスの向上と管理コストの縮減を図りました。また、利用者の安全確保等のため、中央緑地体育館の外壁補修工事等を実施したほか、利用者の意見を反映させるため利用者協議会を開催し、利用者の視点に立った施設の維持管理に努めました。				

〔運動施設整備事業費〕	48,331,080円
・中央緑地運動施設整備事業費	45,444,630円
中央緑地体育館受変電設備更新工事等	
・その他運動施設整備事業費	2,886,450円
三滝テニスコート管理棟外壁改修工事	
〔市単独経済対策事業費〕	15,144,150円(国庫支出金 14,558,000円)
・三滝公園運動施設整備事業費	
三滝テニスコート人工芝改修工事等	
〔一般経費〕	266,820,090円(その他特財 73,771円)
・運動施設一般経費(施設管理委託料等)	
〔補助金〕	2,003,000円

- ・地区運動広場整備事業費補助金
- 〔負担金〕
- ・三重県体育施設協会負担金

21,000円

目4 四日市ドーム費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
58,673,000円	58,614,865円	99.9%	0円	58,135円

(スポーツ課)

目的	スポーツ施設及びスポーツ環境の整備				
指標	スポーツ施設稼働率	目標	100%	実績	99.7% (20年度 99.4%) 1人当たりコスト 292円 (20年度 281円)
説明	指定管理者トーエネックグループに管理を委任し、民間事業者の創意工夫により市民サービスの向上等に努めました。21年度は全国人権・同和教育研究大会のような全国的規模の催し物も開催され、ほぼ100%近い施設稼働率でした。				

〔施設管理運営費〕 58,614,865円 (その他特財 2,133,454円)
 ・四日市ドーム一般経費(施設管理委託料等)
 四日市ドーム利用状況

実利用日数(A)	利用可能日数(B)	利用人数	利用率(A/B×100)	使用料収入		
313日	314日	200,418人	99.7%(H20 99.4%)	40,721,628円		
アマチュアスポーツ		その他の催し物			一般公開	合計
入場料無	入場料有	式典・講演会	展示・見本市	プロ興行		
325件	5件	3件	7件	0件	22件	362件